

	ワークショップをふりかえってのご感想をお聞かせください	今後取り組んでみたいことを教えてください	これだけは言っておきたいことなどがあれば、お聞かせください
①	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・会合など、まだ Web が多い。対面での話し合いが大事だと改めて思った。 ・知ってもらうことが一番大事だと感じた。 ・もう少し多方面の方々と話せればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中断している各イベントの再開時にはパワーアップしたものにできればと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掘りおこし探すことでユニークな人材は出てくる。 ・江戸川区鹿骨ならではのアイデアを望む。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・農に興味がある方が多くいたことを知ることができてよかった。 ・農家は普段、他人と話す場がないので楽しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PR 関連 (30)収穫祭(68)その場で調理できるキッチンカー(69)気軽に集える江戸野菜を食べられる居場所づくり(84)取れすぎ野菜（廃棄野菜）の加工(87)移動販売車を利用した地元の野菜・花の直売(88)お寺でマルシェ(89)お寺で朝市 など ・困りごとの手伝い (73)草取りなどできることから (79)農家に代わって営業、マーケティングしてくれる人 (農家としては お手伝いも欲しいが、営業さんが一番欲しい！) 時間があれば何でもやってみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今、フードバンクを開催している。あまった農作物は欲しい。 ・果実も収穫体験の企画で取らせてあげたい。 ・来年は、空いている畑で”ジャガイモ”を植えて、育てて、収穫する体験の企画計画中心！慣れてきたら“夏野菜”もやらせてみたい。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・農家さんの話を直接伺える機会をいただきありがたかった。 ・農業をするのがどれだけ大変かが改めてわかった。 ・つながりを大切にして、このワークショップで知りあえた方々と農をもっと盛り上げていきたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 項目にかかわらず、次世代の子供達のためになることならなんでもやりたいです。 	<p>農家さん！！</p> <p>なにか困った事があったら</p> <p>いつでも教育プラザ南小岩を頼ってください！！</p> <p>子供達と助けにいきます。</p>

<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地は大切。子供達が「土」にふれ野菜・お花など育てて収穫し作り食べる「食育」が大切。 ・野菜が成長する様子を見ることができ、良い土を育てる「堆肥（たいひ）」を作る場所があると良いなと思った。 ・学生に SNS で農地や鹿骨をアピールしてもらい発信することが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育での野菜作り体験をしてみたい。 ・農家さんへ訪問し、雑草取り体験、困り事のお手伝い体験をやってみたい。 	<p>農家さんと色々お話できる機会があるとよい。</p>
<p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、大学の講義のみでは気付けなかった様々な事についてわかった。 ・「堆肥は虫を寄せ付けない」「大人が面倒と思っている事を子どもは楽しんで取り組む」、また「〃〃を守る！」というのは大人の決めつけで、次世代の意思が重要視されていない」というのが一番印象に残った。 	<p>収穫祭（東京農業大学イベント）を通して“STEP3 採って食べる”事を体験していきたい。</p>	<p>毎年開催される「東京農業大学 収穫祭」、抽選になってしまうが、ぜひ来訪を！（10月末開催）</p>
<p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々が今後生きていくに当たって、農業の後継者が今の時代育っていないことが問題。 ・自分の農への取組を少しでも発表でき感謝。 	<p>農家皆が、土と取り組む考え方をもう少し変えて取り組んでいくことを希望。</p>	<p>“農業は土作りが大変”ということを知っている人が、今の時代少なくなっているのではないかと心配。</p>
<p>⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを感じた（江戸川区大好き！）。 ・農家さんの困りごとは地域の財産（お宝発掘）。 ・規格外の品を活用して地産地消をもっと積極的に。 ・農家 PR（看板・QR コード使って）が大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者と消費者をつなげる媒体（化学反応）となる。 ・外国の人を含めた、地域の新しいコミュニティの創設。 ・インド、中国、東南アジアを「食べる（食材）」でつなげる（料理教室）の開催。 ・季節の新しいイベント（ハロウィン・ディワリ・etc.） <p>※ディワリ：インドのヒンズー暦上の新年を祝う祭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実のなる街路樹に！ ・せっかく知り合えたのだから、この先もつながりましょう（継続は力なり）

⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域を知ることができたのはよかった（その地域でどんな資源が生かされているのか、もう少し掘り下げが出来ればいいか?）。 ・それぞれの方々が集まる機会があり”鹿骨の良さ”を感じ取ることができたことはよかった（新たな方と顔を知ることができた）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農の風景としての拠点からスタートしていければと思う。 ・地元の方々との話し合いを深めることができればよいのでは。 	<p>地元の方の参加者が多いとよい。</p>
⑨	<p>農業というと野菜と思う人が多く、花に関してはあまり話が出てこなかった。</p>	<p>「小松菜力」（PR 冊子）が動画配信などを行うならば、農家として参加してみたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作り手のいない農地を区で借りてくれば、農家が教える。 ・小中学生の農業体験、障害者によるお手伝い、でき上がったものをマルシェや子ども食堂へ。
⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・多方面で活動している方々の考えや思い（PRの方法・農業の大切さなど）を知ることができてよかった。 ・農に直接触れることが大事だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントがあればお手伝いしたい。 (11)店舗シャッターに農業 PR (12)ラッピングカー (13)屋形船ラッピング (14)看板デザインコンテスト (15)区内出身の芸能人等と協力した PR 活動 (16)区の農業大使 (17)テレビ番組に申し込み (18)プロモーションビデオ 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと鹿骨住民の声を聞きたかった。
⑪	<p>生産者、消費者（地域住民）が参加し、忌憚の無い意見交換ができたと思う。</p>	<p>ワークショップ参加メンバーによる情報提供を積極的に行い、HP を盛り上げる（HP づくり）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メタバースの基地を作り、アバターで参加できる仕組みづくり。 ・生徒、学生によるプログラムづくり。

⑫	農家さんが何をしているか、なかなか知る機会がなかったが、今回の WS を通じて、農家の人と顔見知りになった事が今後のつながりの起点となった。	江戸川区は外国人が多く住んでいる環境で、農地を使ったイベント、あるいは農園を含む Town 等あれば企画したいし参加したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・農地があることが江戸川区の魅力作りに一役かっている事をもっと一般の人に知らせる仕組みづくりが必要。 ・昔から住んでいる人には自明のことも、最近移ってきた方に伝わるようにしたらと思う。
⑬	地域の他業種の方の農家に対する意見を聞かせていただいた。	<ul style="list-style-type: none"> ・規格外商品の流通 ・子供たちとの土を通した「ふれあい」 ・鹿骨マップ作製 	<ul style="list-style-type: none"> ・外食産業や農産物を使っているような方の意見を聞いてみたい。
⑭	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の方々、地域の方々、様々な立場の方の思いを知ることができたのはよかった。 ・鹿骨地区をよりすてきな地域にしたいという願いを共有できたことがよかった。 	学校として、地域とのかかわりが大切な中、鹿骨地区の財産、よさである農をいかに取り入れていくかを改めて考えて行きたい。	様々な取り組みがスタートすると思いますが、それらが義務感（～しなければならぬ）にならないよう願うばかり。
⑮	スローガンの「手をのばせば」と「つながる」の組み合わせがとても良かった。	花農家さんに植え替えのやり方を教えてほしい。「特にラン」	
⑯	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークで意見を出していく、他の方の意見を聞くことで、さらにアイデアがわく楽しさを味わえた。 ・地元の良さ、農を大切にする気持ちは江戸川区で生活していく上でとても大切だと考え、区外の方にも子供達にも伝えていきたいと思った。 ・それぞれの考え・想いに、こういう機会をつながることで、新しい事が生まれ、ブラッシュアップできるので今後の活動につなげ、地元の方とのつながりを大切にしていきたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸川区内での活動 ・ハーブを使ったイベントやレシピ考案、休耕地の活用 ・マルシェ（ハーブ）、お花を使ったクラフト製作 ・農家さんとの交流 ・ハーブスイーツ ・廃棄野菜の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・都会に住んでいる方がわざわざお金を払って農業体験へでかける現状があるので、そういった人達を江戸川区に呼び込む企画などを提案したい。

⑰	<ul style="list-style-type: none"> ・生産農家の実情を知ることができた。 ・伝統を守る思いが強く伝わったと思う。 ・参加者は皆、とても熱心であったことは良かった。 ・この集まりを失ってはならないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(11)店舗シャッターに農業 PR (17)テレビ番組に申し込み は参加可能。 ・(18)プロモーションビデオ は実施を継続中(平井西町会)。 	<p>69万区民が何かしら関わる(区民が応援することのできる参加の仕組みは必要。</p> <p>一例:チャレンジデー(住民参加型のスポーツイベント)のような事。</p>
⑱	<ul style="list-style-type: none"> ・一個人として大変好きな鹿骨の広い空を守るための取り組みとして、このような活動があり、そこに参加できたこと、また同じ志でここに集まる方と知り合えたり議論ができたりして嬉しく思った。 ・鹿骨・江戸川区の良さを再発見しながら、未来に残していく活動がこの育成地区指定という形の中で続いていくことを願っている。 	<p>地区の中に存在するスポットとして、何か貢献できることがあるなら是非やっていきたい。人が集まる場として、曜日や時間帯によっては大いに使えるリソースがあるように思うので、いろいろとご相談いただければ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿骨という地域は、これからまだまだ人が増えていく地域かと思う。土地は住居の値段の魅力だけではなく、その町・地域としての魅力を今いちど評価し、選ばれる街になるようにしていけたら素晴らしいのではないかと。 ・「農の風景」は最大のキーワードだと思うのでぜひとも生かしていくように私自身もコミットしていきたい。
⑲	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸川区内での農業がおかれている状況を少し理解できる様になったことがよかった。 ・農の風景を守る為には地域内でサイクルが大切! <div data-bbox="331 1220 631 1359" data-label="Diagram"> <pre> graph TD A[作る] --> B[販買] B --> C[消費] C --> A </pre> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・農の風景を育成から取り組みたい。 ・農の風景を通して人が集まる町づくりについて取り組んでみたい。 	<p>内部(域内だけ)での取り組みだけだと、都市農業は増々減ってしまう。外部に注目される活動(行政含め)が必要。</p>

⑳	<p>農業者より「自分が働けなくなったら農地は手ばなすだろう」との発言があったことに驚きを感じた。もっと前向きの話のきっかけになるような発言を期待していたが。</p>	<p>新しい品種の実験栽培―土地作りから生産まで。 子ども、老人、障害者等を巻き込んだ実験農業への取り組み。</p>	<p>・体験できる十分な広さ(5,000㎡くらい)のあるスペースを確保してほしい。小松菜以外の江戸川区らしい(あるいはかつて生産していた)野菜作りの挑戦のため必要では。 ・WSメンバーを中心にした実践のための「実行委員会」等を区民中心で作ってはどうか。</p>
㉑	<p>・「特産」としての小松菜づくりを全国にPRする具体的な取り組みを区をあげてスタートする必要がある。……江戸川区のグレードアップ ・「水とみどりのまち」→改め→「水・みどり・花・農のまち」としてPRすること。</p>	<p>・みどりの啓発</p>	<p>・農家の数が減って行くことを区はどうとらえているのか。</p>